

第74回日本矯正歯科学会大会 優秀発表賞 受賞者

演題番号	筆頭著者氏名		筆頭著者所属	演題名
学展-032	永山	邦宏	鹿児島大学 医学部・歯学部附属病院 矯正歯科	クレンジング時の脳賦活部位の左右差についての検討：fMRIを用いた研究
学展-034	佐藤	南	徳島大学大学院口腔科学教育部口腔顎顔面矯正学分野	低出力パルス超音波は唾液腺炎に対して抗炎症作用を有し唾液分泌を促進させる
学展-037	阿部	泰典	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科咬合機能矯正学分野	成長期ラットにおける大脳皮質一次運動野顎顔面領域の機能局在の発達
学展-048	吉見	知子	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科歯科矯正学分野	マウスにおける閉口相での咬筋および側頭筋の協調運動のメカニズムについて
学展-073	大石	修史	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科咬合機能矯正学分野	間欠的低酸素暴露は成長期ラット歯槽骨の骨微細構造に影響を与える
学展-079	伊藤	慎将	大阪大学大学院歯学研究科顎顔面口腔矯正学教室	Runx/Cbfbシグナリングはアンドロゲン代謝を介して唾液腺の雌雄二形性発現を制御する
学展-093	森	浩喜	徳島大学大学院口腔科学教育部口腔科学専攻口腔顎顔面矯正学分野	S1P/Smad3シグナルクロストークを介した変形性顎関節症の病態メカニズムの解明
学展-103	糸日谷	佳菜子	鶴見大学歯学部歯科矯正学講座	Asporinは咬合機能低下に伴う歯根膜腔狭窄の制御因子である
学展-106	前田	綾	鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 歯科矯正学分野	圧刺激による骨芽細胞のケモカインの発現誘導にはIL-1 β とMyD88シグナル伝達系が必要である
学展-107	関	大輔	東北大学大学院歯学研究科口腔保健発育学講座顎口腔矯正学分野	遺伝子導入を応用したiPS細胞由来象牙芽細胞様細胞の新規分化誘導法の開発
学展-115	幸田	直己	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 顎顔面矯正学分野	歯根膜恒常性維持の新たなメカニズム - 転写因子Mkxの機能解明 -
学展-121	大柳	俊仁	東北大学大学院歯学研究科顎口腔矯正学分野	IGF-1を添加した再生歯胚におけるサイズ増大のメカニズムの解析
学展-122	新井	智映子	九州大学大学院歯学研究科口腔保健推進学講座歯科矯正学分野	歯の発生における基底膜分子Nephronectinの役割
学展-172	深山	和香子	日本大学歯学部歯科矯正学講座	矯正治療前後における上顎中切歯部歯槽骨頂の変化-歯科用コーンビームCTによる検討-
学展-233	深谷	紗吏	鶴見大学歯学部歯科矯正学講座	IGF-1の顎関節局所投与による下顎骨非対称に対する治療の可能性
学展-251	正田	理奈	東京医科歯科大学 医歯学総合研究科 顎顔面矯正学分野	口唇口蓋裂患者において長期的構音障害は聴覚認知様式に影響を与える
学展-258	上園	将慶	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科顎顔面矯正学分野	唇顎口蓋裂患者の矯正治療に影響を及ぼす因子の検討-下鼻甲介の垂直的位置と骨架橋形態の相関について-
学展-260	村本	慶子	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 顎顔面矯正学分野	次世代シーケンサーを用いた口唇口蓋裂患者の口腔内細菌叢の網羅的解析
学展-263	町谷	亜位子	明海大学歯学部形態機能成育学講座歯科矯正学分野	進行性骨化性線維異形成症 (FOP) の異所性骨化におけるFKBP12の役割
学展-265	関谷	利子	鶴見大学歯学部歯科矯正学講座	Oligodontiaにおける永久歯先天性欠如の発現パターンに関する検討
症展-018	今野	萌	北海道医療大学歯学部口腔構造・機能発育学系歯科矯正学分野	下顎骨正中骨延長術後に外科的矯正治療を行った骨格性III級不正咬合の一症例
症展-019	石田	宝義	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科咬合機能矯正学分野	Mandible first: 正中分割上下顎移動術を施行した骨格性下顎前突症の1例
症展-026	臼見	莉沙	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科咬合機能矯正学分野	筋機能の調和により顎位の改善が認められた1症例
症展-037	府川	彰久	フカワ矯正歯科医院	萌出方向の異常で上顎側切歯の歯根に近接した犬歯を直接牽引することなく本来の萌出位置に誘導した4症例
AE-006	KAGEYAMA	Toru	Department of Orthodontics, Matsumoto Dental University	Effects of aging and stimulation by non-contacted pulsed radiofrequency on orthodontic tooth movement
AE-015	TSAI	Chi-Yang	Department of Orthodontics, Taipei Medical University	Using micro-osteoperforation and corticision for accelerating orthodontic tooth movement in rats
CE-001	YU	Jian-Hong	Department of Orthodontics, China Medical University Hospital Medical Center, Taiwan, R.O.C.	Clinical application of dual-thread orthodontic implant with revolving cap (R1)